

子どもを守るパズルの1ピースとして子ども虐待に対応する



通告義務者向け性虐待被害児聞き取り面接

研修の内容

- * 子どもは性虐待をどのように経験するのか
- * 虐待を打ち明けるプロセス
- * 性的発達
- * 日本の児童保護制度
- * RIFCR(リフカー) プロトコル

日時

平成28年2月20日(土)

9:00~18:00

「虐待を受けたのではないか」と思われる子どもから話を聴くことを、大人はためらいがちです。しかし、被害の最大の“目撃者”である子どもから適切に話を聴くことは、子どもを虐待環境から救い出す上では、絶対に欠かせないステップであり、通告義務者は特にそのスキルを身につけておくことが望まれます。身体的にはほぼ症状のない性虐待の場合、とりわけ聞き取りが重要です。性虐待への対応を身につけることは、その他のあらゆる虐待・体罰・いじめ等の被害児からの聞き取りに有用となります。

詳細な調査(司法面接)の前段階の現場の我々が、最初の聴き取りの際、子どもたちから何をどのように聴くべきか、そのことを知ってもらうのがRIFCR(リフカー)研修です。

会場

児童家庭支援センターてんり
天理市別所町 715-3 [天理養徳院] 内
※車でお越しの方は臨時駐車場をご利用下さい。

参加費

8,000円 テキスト代 1,000円込み
※要事前振り込み 振込先は裏面参照

定員

40名 先着順
※定員を超えた場合のみ、ご連絡いたします。

対象

市町村の要保護児童対策調整機関関係者、
小・中高校の養護教諭、児童養護施設の職員、
保健師、保育士、小児科看護師など、
子どもに関わる保健・福祉・医療等の
専門職の方、警察、弁護士など

問い合わせ

- ・児童家庭支援センターてんり TEL 0743-63-8162
- ・子育て支援サークル野の花ほっとスペース(林繁子) TEL 090-3716-1854

RIFCR(リフカー)は、

ミネソタ州の「子どもの福祉を最優先に」を基本理念に設立された、子ども虐待評価・研修センターのコーナースペースが開発した、面接プロトコルです。

日本子どもの虐待防止民間ネットワークには、コーナースペース認定の日本人トレーナーがおります。

わが国でも性虐待を受けた子どもたちを理解するとともに、その対応を学ぶ機会を多く作っていきたく考えています。

子どもたちを第一に考え、子どもたちを守るために!

主催：特定非営利活動法人MCサポートセンターみっくみえ
特定非営利活動法人子どもの虐待防止ネット・にいがた
共催：日本子どもの虐待防止民間ネットワーク
後援：児童家庭支援センターてんり・野の花ほっとスペース

RIFCR 研修参加申込書

ふりがな お名前			
ローマ字(必須)			
連絡先 ご住所	〒		
電話番号			
パソコン メールアドレス			
所属		職業	
通信欄	2月20日土曜日奈良県天理リフカー		

FAX 送信先 0985-85-9901

※送り間違いのないように、送信先をご確認ください。

※FAXでお申し込み後、受講証をメールにて送付いたします。

受講証が届き次第、10日以内に下記の振込先に受講料をお振込みください。

振込み手数料は受講者のご負担になります。

一旦納入していただいた受講料は返金致しませんので、あらかじめご了承ください。

FAXでお申し込み後、1週間以内にメールにて受講証が送付されない場合は、念のため、ご連絡ください。

振込先> 三菱東京UFJ銀行 桑名支店 普通
加入者名：MCサポートセンター 代表 松岡典子
口座番号：0066401

※9:00~18:00のうち、12:00~13:00が昼食休憩の予定となっております。

現地問い合わせ

- ・児童家庭支援センターてんり TEL 0743-63-8162
- ・野の花ほっとスペース(林繁子) TEL 090-3716-1854